

# 小れ愛にいひうら。

第27号

## 太田西ノ内病院広報誌・第27号

発行／(一財)太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集／太田西ノ内病院広報委員会

発行日／平成25年9月

住所／郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL(024)925-1188

ホームページ：<http://www.ohta-hp.or.jp/>

今年3月、太田西ノ内病院6号館が落成し、  
4月1日より新しい外来と病棟がオープンしました。  
各フロアをご紹介いたします。



1階内科待合室(南)



2階内科・皮膚科・形成外科待合室



1階内科待合室(北)

1階は内科外来で一日平均700名の受診があります。新棟は、北側が消化器内科、循環器内科、そして南側が血液内科、呼吸器内科、神経内科、内科の診察室となっております。新棟は何よりも待合室が明るく広くなりました。以前は、待合室や处置室が手狭で混雑し、常に安全面からの懸念がありました。現在は患者さんが立てて診察を待つことはなくなり、ゆったりお待ちいただくことができるようになりました。また、处置室のベッドも増え、その中にはリクライニングの椅子などもあり、症状に応じてベッドの選択が出来るようになりました。さらに診察室も広くなつたことで、神経内科のように歩行状態の診察を行う場合もスペース確保ができるようになります。全体的に患者さんは好評を得ております。

また新たに感染症外来が新設され、隔離の必要性がある患者さんに対する新設された診察室も広くなつたことで、神経内科のように歩行状態の診察を行う場合もスペース確保ができるようになります。

2階は、一部の内科系と形成外科・皮膚科・内視鏡室・耳鼻咽喉科の外来となっています。特に内科系が1階と2階に分かれたことで、内科全体の待合室の混雑が大きく緩和されました。

（皮膚科）  
7名の医師が、曜日別で予約診療を行っております。形成外科と隣接したことでも今まで以上に診療科相互の連携が図りやすくなりました。

（形成外科）  
体表の疾患や外傷、美容外科を対象に予約診療を行っており、外来でも手術ができるようになりました。

1階

一階は内科外来で一日平均700名の受診があります。新棟は、北側が消化器内科、循環器内科、そして南側が血液内科、呼吸器内科、神経内科、内科の診察室となっております。新棟は何よりも待合室が明るく広くなりました。以前は、待合室や处置室が手狭で混雑し、常に安全面からの懸念がありました。現在は患者さんが立てて診察を待つことはなくなり、ゆったりお待ちいただくことができるようになりました。また、处置室のベッドも増え、その中にはリクライニングの椅子などもあり、症状に応じてベッドの選択が出来るようになりました。さらに診察室も広くなつたことで、神経内科のように歩行状態の診察を行う場合もスペース確保ができるようになります。全体的に患者さんは好評を得ております。

2階

2階は、一部の内科系と形成外科・皮膚科・内視鏡室・耳鼻咽喉科の外来となっています。特に内科系が1階と2階に分かれたことで、内科全体の待合室の混雑が大きく緩和されました。

（記）内科外来 看護科長 星 美穂子

### 〈内視鏡室〉

検査室のスペースが広くなり透視室も隣接したことで、緊急時の対応がより速やかに行えるようになりました。

### 〈耳鼻咽喉科〉

診察室が個室化されました。また、外来超音波検査を整備し、緊急時対応がスムーズになりました。

全体的に、以前に比べて診察室も待合室もゆったりとしたスペースで、落ち着いた雰囲気となっています。

〔記・耳鼻科外来 看護科長 宗像宏子〕



内視鏡室



形成外科外来手術室



SICU



3G病棟病室



3G病室内トイレ



NICU



GCU



内科診察室

方に、安心できるプライベート空間で治療に専念できる環境を提供しています。東側に面している病棟は朝一番に陽射しが差し込み、ゆったりと静かな環境です。ベッド数は15床で、病棟管理医1名と看護スタッフ17名の体制です。患者さんの意思とプライバシーの尊重を心掛けています。全室にインター・ネット環境、トイレ、シャワー室、冷蔵庫が完備されており、ベッドも電動になっています。混合病棟のため、看護師は様々な疾患に対する知識を深めようと日々努力しています。患者さんとのコミュニケーションを大切にし、患者さん一人ひとりに満足していただけるよう、最善を尽くしていきたいと考えております。

SICUは侵襲の大きな手術後の全身管理を集中的

### 3階

3階には全室個室の3階G病棟とSICU(外科系集中治療室)があります。

行う設備を整えた病棟で、6月から6床定床で運用が開始されました。

〔記・3階G病棟 看護科長 牛嶋富美〕

### 4階

4階は、地域周産期母子医療センターの機能充実を目的に分娩室の整備とNICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児成長観察室)が増床されました。地域周産期母子医療センターは周産期(妊娠22週以降から生後7日未満までの期間)を対象とした医療施設で母体分娩異常、胎児、新生児の異常に對して、産科、小児科、小兒外科、麻酔科などその他の関連診療各科の医師、スタッフが緊密な連携を取ることにより、高度専門医療、救急医療を行い、母児双方の健康を守る役割を担っています。

ベッド数はNICU・12床とGCU18床で、医師4名(うち新生児専門医1名)を中心に、看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、および家族の心のケアには臨床心理士、社会資源や退院後の生活支援についてはソーシャル

ワーカーが介入してチームとして赤ちゃんご家族を支援する体制を整えています。

またNICU・GCUでは産科病棟と連携し、お母さんが産科病棟入院中はいつでもNICU・GCUへ面会・授乳に来ることができます。さら

に親子のふれあいの時間と関係づくため長時間面会を実施しました。日々成長する赤ちゃんの姿を看護師が写真に撮つてその様子を記載した「成長記録ノート」を作り、ご家族の方にも我が子への思いを記載して頂くなどして一緒に赤ちゃんの成長を見守り、思いを共有できるように努めています。面会はご両親だけの制限ですが、祖父母や兄弟姉妹にはモニターテレビや窓越しでの面会を通して家族全員で赤ちゃんの成長を見守ることができます。

〔記・NICU・GCU 看護科長 宗形明子〕

私たちがこれからも常に笑顔と思いやりを忘れずに、患者さんご家族に優しい安心で安全な医療と看護の提供に努めていきたいと思っています。

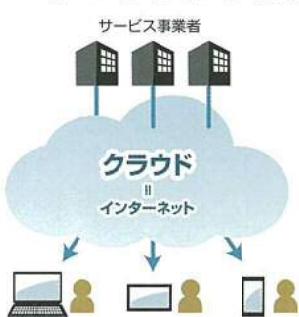


## 当院でのクラウド開始の背景

厚生労働省が2010年2月に通知した「診療録等の保存を行う場所について」の一部改正についてを受け、民間のデータセンター事業者による医療情報を外部保存が可能になりました。当院でも2011年3月に発生した東日本大震災をきっかけに、災害時でも安全にデータ運用が可能な外部保存の運用を検討いたしました。

近年、画像診断装置の高性能化に伴って、保存データ量が増大しています。また、慢性疾患患者様の增加などによって長期保存も求められています。こうした運用課題の解決策として、当院でも来年1月から、G.E.社の「医知の蔵」という、医療クラウドサービスの利用を開始する運びとなりました。

クラウドとは英単語を直訳すると「雲」という意味です。クラウドとは別の場所にいたとしても、空を見上げれば同じ雲を見ることがあります。別の場所に保管したデータを、閲覧したいときにはアクセスして見れるわけです。安全性で例えるならば、自宅の金庫でお金を保管するよりも、銀行に預けたほうが安心して管理してもらえる。簡単に言うとそんなイメージです。



## こんなにあるー身近なクラウド

クラウド型サービスは、意外に身近なところで利用されています。たとえば、GmailやHotmailに代表される一般的にWebメールと呼ばれているサービスもクラウドの代表格です。

以前は、パソコンでメールを利用するには、インストールされたメールソフト(Outlook Expressなど)を起動し、送受信したメールはハードディスクの中に保管されていました。Webメールの場合、メールはインターネット上のメールサーバー内に置かれたままで、それをWebブラウザ等で閲覧する仕組みになっています。この仕組みにより、自宅でも会社でも、最新のメールボックスの内容を閲覧できるわけです。



## 医療クラウドにおける患者様へのメリット

また、将来的な話ではありますが、医用画像データの外部保管は「複数の医療機関における情報共有」にも役立ちます。各医療機関が院内に医用画像を保存している場合、病院間で患者様を紹介する場合(セカンドオピニオンなど)にCD・DVDなどに記録したデータを送る必要があります。外部保存サービスでは、データを参照するシステムを介して地域連携を行う他病院での遠隔読影が容易になります。市内の地域医療の展望を考えるとき、医用画像データの外部保管は患者様にもメリットが大きいですね。

今後も、患者様が便利かつ安心して当院をご利用していただけるよう、医療クラウドサービスの開始にご理解とご協力をお願い申し上げます。

(放射線部  
畔上太郎)

# おくすり千夜一夜

## 魔法の弾丸

1



1915年8月20日化学療法(Chemotherapy)ケモセラピーといふ用語と特効薬=魔法の弾丸(magic bullet)という概念をはじめて用いたが、「副作用なしに病原体のみに薬効が及ぶ特効薬」といった意味合いで、この語(魔法の弾丸)を用い、医学・薬学などの分野で定着していった。抗生素質は、

「魔法の弾丸」のコンセプト(基本的な考え方、根本的な思想)を実現した例である。

抗生素質第一号!

1928年(昭和3年)、イギリスの細菌学者アレクサンダー・フレミングは、ブドウ球菌の培養実験を行っていた。ある日彼は、培養シャーレの中に1ヶ所だけ菌が成育していない場所があることに気づいた。調べてみるとそこには、実験中偶々見つけたほうがあつたため、思っていただけだ。

彼は細菌学者であつた彼よりもむしろ「化学者」が得意とする分野の仕事であつたため、思つてみるほどにはなかつた。これはアオカビが生えていた。これはアオカビが生えていた。

(薬剤師 佐藤彦衛)

ブドウ球菌を殺菌する「何らかの成分」を作つてあるためではないか、と考えた。(実際には、この現象は殺菌ではなく細菌の発育阻止によるものであつた。

彼はその「何らかの成分」を、アオカビの学名(ペニシリウム)にちなんでペニシリンと名付けた。引き続いてフレミングは、ペニシリンを実用化するための基礎研究に取りかかつた。しかし、実用化には二つの課題があつた。「一つは十分な量を確保できること。もう一つは彼が発見したペニシリンは効果が現れるのに時間がかかるため、より効果的なものに改良することであった。これらの課題を克服するには、アオカビの培養液から活性本体(効果の主成分)だけを取り出す、すなわちペニシリンを精製する必要があつた。しかし、それは細菌学者であつた彼よりもむしろ「化学者」が得意とする分野の仕事であつたため、思つてみるほどにはなかつた。

# 心臓弁膜症つてなに?

「以前より動悸や息切れがしやすくなつた」「近ごろ何だかだるい」「歩くのが他の人より遅くなつた」「足がむくみやすい」「夜寝ているとき息苦しいことがある」「時々、胸が痛くなる」などの症状が長く続いていることはあります。生活に支障が出るほどではないし、年齢のことを考えると仕方がないと思つていませんか?その症状、心臓弁膜症かもしれません。そこで今回は心臓弁膜症についてご説明します。

1. 動脈硬化が原因となる虚血性心疾患。狭心症や心筋梗塞など。
2. 脈の乱れを起こす病気。不整脈、心房細動、心室細動、房室ブロックなど。
3. 心筋の病気、心臓弁膜の病気、心膜の病気など。心筋症、心臓弁膜症など。
4. 生まれつき心臓に問題がある先天性心臓病。心房中隔欠損、肺動脈狭窄など。
5. そのほかの病気。心肥大、精神的な原因から起つる心臓神経症など。その中で、3.に含まれるのが心臓弁膜症です。心臓弁膜症とは心臓にある4

つの弁(僧帽弁、大動脈弁、三尖弁、肺動脈弁)のいずれかに障害が起つり、本来の役割を果たせなくなつた状態を言います。弁の開きが悪くなり血液の流れが妨げられる「狭窄」と、弁の閉じ方が不完全になり血液が逆流する「閉鎖不全」があり、大動脈弁と僧帽弁に多く起ります。かつてはリウマチ熱の後遺症として発症することが多かつた心臓弁膜症ですが、現在は高齢化や動脈硬化などに由来する弁膜症が増加しており、その推定患者数は200~300万人と言われています。しかしその初期症状(動悸、息切れ、疲労感、むくみ、胸痛など)が日常的に生じる感覚とよく似ていることや、じわじわ進行していくことから体の方が慣れてしまい自覚症状がない場合もあり、発症していくもきちんと治療を受けている方は氷山の一角だと言われています。もしかしたら、気になる症状がある場合や、自覚症状がなくて心臓に雜音があると指摘された場合には循環器専門医を受診し、弁膜症診断には欠かせない心臓超音波検査を受けることをお勧めします。心臓超音波検査とは、絶えず働いている心

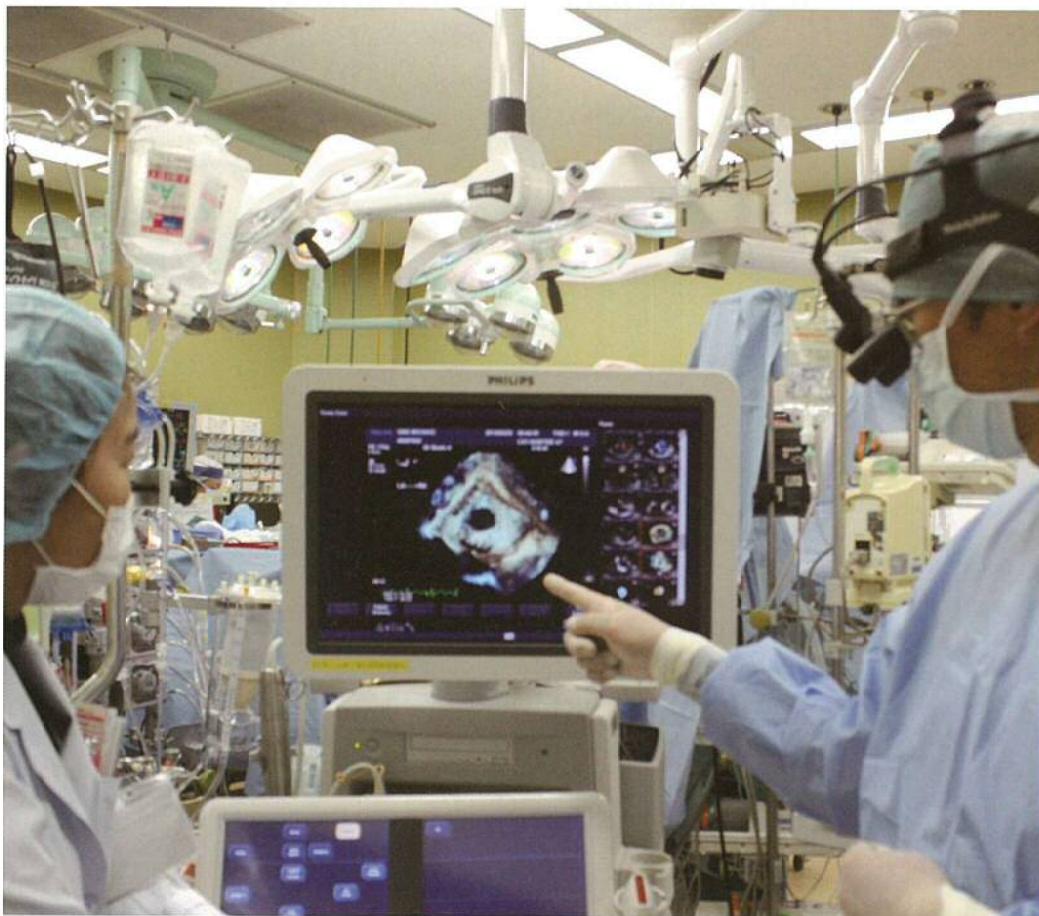


図4

臓の動きを実際にみることができるので、簡単で負担が少なく、人体に無害で痛みを伴うこともない検査です。しかも心臓超音波検査からは心臓の様々な情報を得ることができます。

1. 心臓の大きさ、形、心臓の壁の厚さ、動き方がわかります。
2. 血液の流れる速度、方向がわかります。

血液の流れる速度や方向は、弁膜症の診断にはなくてはならない情報です。もし弁がうまく機能しなくなつて血流が逆流する場合は「閉鎖不全」、弁が開きにくくなつたときは「狭窄」と診断します。こうした弁疾患の重症度も評価することができます。

### 3. 3D心エコー図法により心臓の複雑な立体的構造をより正確に、簡単に把握することができます。

図1は3D心エコー図による僧帽弁の状態です。弁尖の逸脱と小さな穿孔を認めます(矢印)。

図2は実際の手術の状況です。弁尖の逸脱と小さな穿孔を認めます(矢印)。

図3は僧帽弁形成術後の術中写真です。詳細に弁の形態がわかれれば、より緻密な手術が可能となり、僧帽弁を治す弁形成術も容易に行うことができます。

図3は僧帽弁形成術後の中写真です。このように心臓超音波検査の進歩により、僧帽弁が逆流を起こす僧帽弁閉鎖不全症ではほとんどの症例で人工弁を使わず、自分の弁を治す僧帽

弁形成術が可能になりました。現在のガイドラインでは、心臓の機能が正常で症状のない患者さんでも、弁形成術が成功する可能性が90%以上ある施設では僧帽弁形成手術を推奨するとされています。当院では2011年10月より3D心臓超音波装置を導入し2013年8月までに76症例の僧帽弁閉鎖不全症に対し僧帽弁形成術を施行しました。そのうち弁の肥厚などそのため自分の弁を治せず人工弁手術に移行した症例は2例のみで、74例(97.4%)で僧帽弁形成術が達成できました。図4は3D心臓超音波装置を使用しながら手術を施行しているところです。

心臓弁膜症は正しく診断され、的確な治療を受けなければ治すことができ、軽症のうちであれば経過観察も可能ですが、疑わしい症状があれば過度に恐れず、また安易に考えず、まずは心臓超音波検査を受けましょう。弁膜症は次第に進行していく病気です。治療しないで放置すれば突然死に至る可能性もあります。すでに弁膜症と診断された方も、定期的に心臓超音波検査を受け、適切なタイミングで治療を受けることが大切です。

当院では毎週水曜日の午後2時から心臓弁膜症専門外来を行っております。心臓弁膜症の患者さんや心臓弁膜症ではないかと悩まれている患者さんに適切な検査、診断を行っています。

(循環器センター長 丹治雅博)



図1

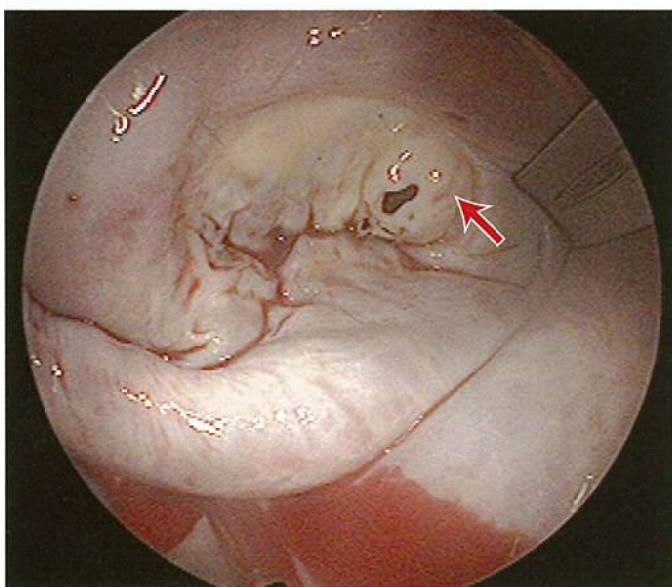


図2

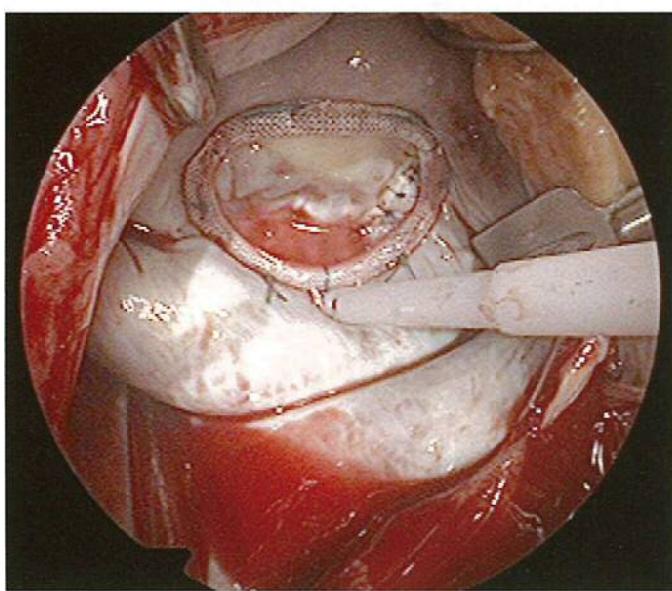


図3

# オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医機関、登録医師のご紹介をしていきます。

ファミリー  
クリニックさとう

The map shows the Kōsei area with several landmarks: 郡山市役所 (Kōsei City Hall), 開成山公園 (Kōsei Mountain Park), 開成山陸上競技場 (Kōsei Mountain Track and Field Stadium), 体育館総合 (Sports Hall Complex), 郡山水道局 (Kōsei Waterfront Bureau), 鎌山郵便局 (Kamayama Post Office), 酒蓋公園 (Sakagai Park), 郡山市立薰小学校 (Kōsei City立Kōtsubo Elementary School), 郡山第一中学校 (Kōsei First Junior High School), 安積高校 (Aki High School), 郡山女子大附属高校 (Kōsei Women's University Attached High School), 郡山女子大 (Kōsei Women's University), 開成小学校 (Kōsei Elementary School), 文化通り (Culture Street), 国道49号線 (National Route 49), 内環状線 (Inner Circular Line), さくら通り (Sakura Street), はやま通り (Hayama Street), and 鎌山通り (Kamayama Street). Three clinics are marked with stars: いしだ内科 (Ishida Internal Medicine) at the top left, 耳鼻咽喉科 (Otorhinolaryngology) at the top right, and ファミリークリニックさとう (Family Clinic Sato) at the bottom right.

所在地／〒963-8851

郡山市開成5-12-2

電話／024-932-1390

FAX／024-933-9483

診療科／内科・小児科・消化器内科

休診日／木曜日午後・日曜日・祝日

診療時間／月・火・水・金 9:00~12:30

14:00~18:30

木 9:00~12:30

土 9:00~12:30

14:00~17:00

平成元年10月、郡山市開成にて開業以来、地域の皆様に信頼されるかかりつけ医として、子供からお年寄りまで安心してかかる家庭医を目指して25年となりましたが、震災の為平成23年10月開成5丁目に移転となりました。  
診療内容としては、一般内科、小児科、消化器内科を標榜し、内視鏡専門にて経鼻内視鏡も行っております。

今後も病診連携を充実させ、笑顔で迎えるスタッフと共に、何でも気軽に相談できるクリニックを目指してまいりますので、これからもどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

登録医から

# ファミリークリニックさとう

院長 佐藤実則

昭和56年3月埼玉医科大学卒業

その後、第一内科(現血液内科)入局

平成元年10月ファミリークリニックさとう 開院

埼玉医科大学血液内科非常勤講師

(平成元年10月～平成19年3月31日)



佐藤実則先生とスタッフのみなさん

# さくま耳鼻咽喉科

登録医から

平成18年に酒蓋公園の西側、鶴見坦2丁目に開院しました。以来、耳鼻咽喉科としての専門性を生かした誠実な医療を心がけ、来院された方々が受診してよかつたと思つていただける、皆様に信頼される医院を目指しております。

診療では特に耳疾患に力を入れております。手術用顕微鏡を用いた丁寧な観察・処置を心がけています。また、鼻、のどの観察には電子内視鏡を用い、X線画像等とともに画像ファイリング装置によりわかりやすく説明するようにしております。この他、睡眠時無呼吸の簡易検査も行っています。

当院では幅広い年齢の患者さんを診察しますので、小児科をはじめ、様々な科の市内の先生方に病診連携、診診連携でお世話になつております。これからもスタッフ一同研鑽に努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

所在地／〒963-8861

郡山市鶴見坦2-9-19

電話／024-990-3387

FAX／024-990-3390

診療科／耳鼻咽喉科

休診日／木曜・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間／月・火・水・金 9:00~12:00

14:30~18:00

木・土 9:00~13:00



院長 佐久間 仁

昭和62年3月 福島県立医科大学医学部卒業

昭和62年5月 福島県立医科大学耳鼻咽喉科勤務

この間、星総合病院・公立藤田総合病院

福島赤十字病院・松村総合病院 勤務

平成12年4月 福島県立医科大学耳鼻咽喉科講師

平成13年4月 星総合病院耳鼻咽喉科部長

平成18年2月 さくま耳鼻咽喉科 開院



佐久間 仁先生とスタッフのみなさん

所在地／〒963-8023

郡山市緑町1-6

電話／024-922-3648

FAX／024-924-5025

診療科／内科・消化器内科

内視鏡内科・肝臓内科

休診日／水曜午後・土曜午後、日曜・祝祭日

診療時間／月・火・木・金 9:00~12:30

14:30~19:00

水・土 9:00~12:30



院長 石田浩徳

平成5年 福島県立医科大学卒業

平成9年 福島県立医科大学大学院卒業

いわき市立常磐病院内科勤務

平成11年 公立岩瀬病院消化器内科勤務

平成14年 太田記念病院消化器科勤務

平成15年 太田西ノ内病院消化器科勤務

平成16年 太田西ノ内病院 内視鏡室部長

平成20年 太田西ノ内病院 消化器科部長

平成23年 医療法人緑町鈴木医院 院長

平成23年 いしだ内科 開院 院長

平成24年 医療法人IMC設立 理事長

登録医から

# いしだ内科

平成23年7月の開設以来、患者さんと同じ目線で、親切な、いたわりのある診療を心がけ、地域の皆様に安心していただける医療の提供を目指すことを基本理念に掲げております。

また、消化器病専門医・消化器内視鏡専門医、肝臓専門医の資格を取得しており専門的な治療を行っております。

何よりもまず患者さんのために、優しい検査、しっかりと診断・治療の実践を目指しスタッフ一同、知識的側面の向上・技術的側面の向上を常に心がけ、これらの通うクリニックを目標に笑顔で頑張っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



石田浩徳先生とスタッフのみなさん

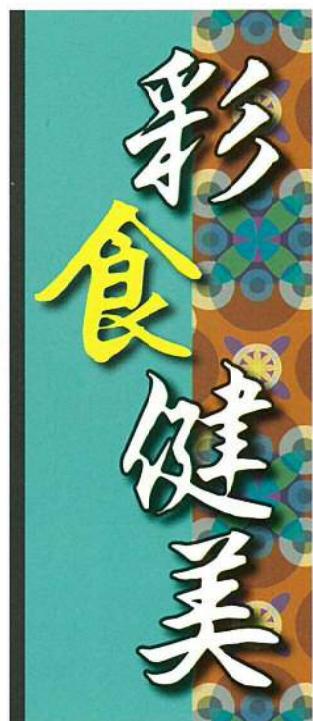
## あぶりサーモン丼

今回は、秋の食材として身近なサーモンを使った料理を紹介します。サーモンの特徴であるピンク色は、抗酸化作用の強いアスタキサンチンによるものです。アスタキサンチンは、血管を若々しく保つたり、目の老化防止にも有効とされています。

また、免疫力を高めてくれる効果もあります。これから寒い季節に備えて、サーモンを食べて免疫力を高めてはいかがでしょうか。是非ご賞味ください。

### 作り方

- ①サーモンは、横から金串を打ち、じか火で軽く焦げ目がつくくらい両面をあぶる。
- ②あら熱をとり、そぎ切りにする。
- ③ねぎは白髪ねぎを作り、青じそは、細い千切りにして、水にさらす。  
(じか火であぶれない方は、フライパンに油をひき、強火で両面に焼き色がつくまで焼く。)
- ④器にごはんを盛り付け、水けを切ったねぎをのせて、サーモンを並べる。
- ⑤しょうゆかけて、最後に青じそを盛る。  
(わさびを使う方は、しょうゆとわさびを混ぜ合わせてかける)



## あぶりサーモン丼

### 材料 (2人前)

ごはん	.....	300g
サーモン(刺身用)	.....	180g
白髪ねぎ	.....	30g(1/3本)
青じそ	.....	4枚
しょうゆ	.....	大さじ1と1/2
お好みでわさび	.....	小さじ2/3

(2人分) エネルギー 485kcal  
塩分 2g



## 投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。  
今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

太田西ノ内病院広報委員会	
委員長	大澤 義弘
委員	関 由美子・吉田 順子
佐藤 彦衛・松田 美津子	遠藤 智文・柳沼 清一・柳沼 孝寿
柳沼 雄樹	柳沼 雄樹

美術館内での避暑も一利あります。  
(関 由美子)

## 編集後記

毎日暑い日が続きます。家の中においても暑いので気分転換にテレビで紹介されていた「伊藤若冲展」を福島県立美術館に行つてきました。アメリカ人のジョー・D・プライスさんの「震災で被害に遭われた人々、とりわけ未来を担う子供たちの心の支えになれば」という強い思いからこの展覧会は実現されたそうです。プライスさんの膨大な江戸絵画コレクションの中から一部を展示してありました。その中でも19種類の動物や植物が色彩鮮やかに描かれた「鳥獸花木図屏風」の大引きは六曲一双(168×7×374.4cm)と圧巻で、説明書きには「子供たちに是非見てもらいたい」と書かれていました。

東日本大震災から3年目を迎えていますが、いつまでも気にかけてくださっている方がいることに、そして絵画による心の栄養を与えてくださったことに感謝し、久しぶりに心洗われたときを過ごすことができました。まだまだ暑い日が続きますが、適切な水分補給、適度な冷房、十分な睡眠等に心掛け、熱中症を予防していきましょう。